

経営比較分析表（平成28年度決算）

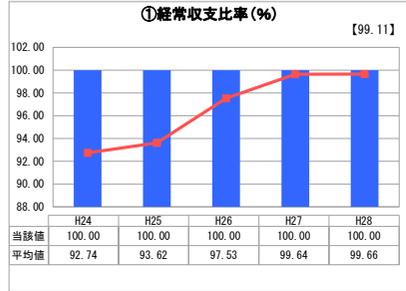
香川県 高松市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	89.36	0.04	100.00	2,571

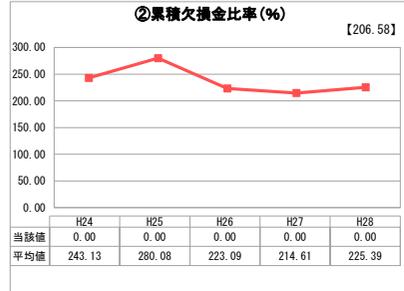
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
429,242	375.41	1,143.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
159	0.17	935.29

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

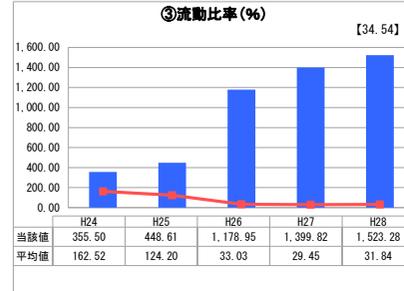
1. 経営の健全性・効率性



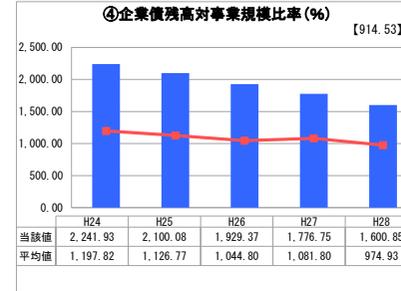
「経常損益」



「累積欠損」



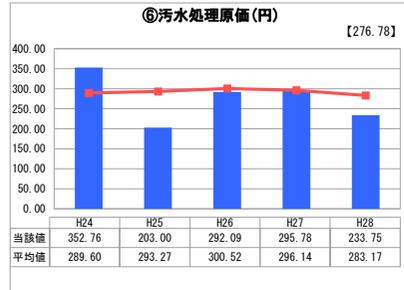
「支払能力」



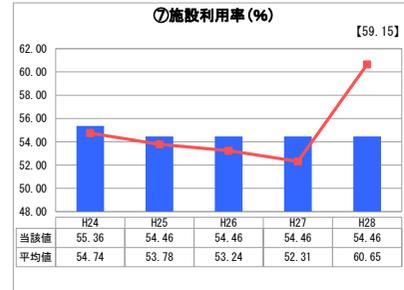
「債務残高」



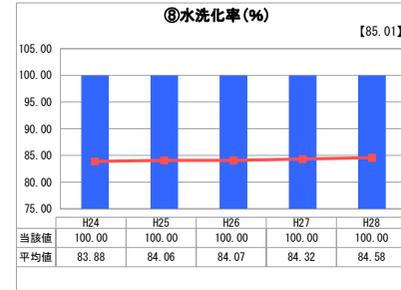
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

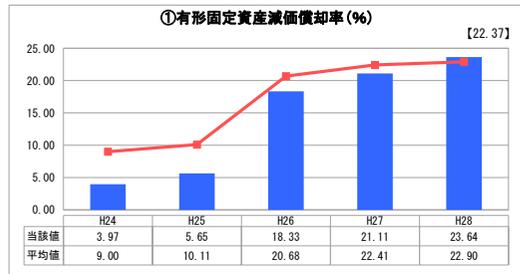


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

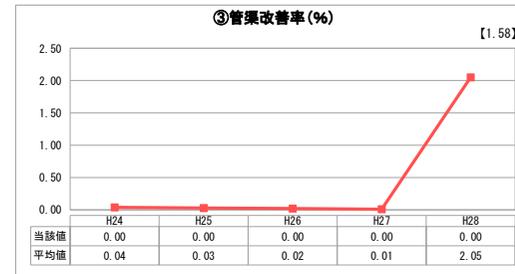
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、使用料で回収できない経費を一般会計からの繰入金で全額繰り入れて賄っていることから、比率は100%となっている。

④企業債残高対事業規模比率は年々低下してきており、これは、現在新規の企業債の借入れを行っていないため、今後も低下すると思われる。

⑤経費回収率は、適正水準とされる20㎡当りの使用料収入が3,000円に達していないため、⑤経費回収率が全国平均より若干低くなっている。本市の経費回収率は、毎年大きく増減しており、平均を大きく下回る年もあるが、これは施設等の修繕の有無などにより⑥汚水処理原価が増減したことによるものである。

公共下水道などと一体的に運営していることで維持管理費などは比較的安く抑えられているが、経費回収率は他都市同様低い水準となっているため、今後も引き続き、使用料確保の適正化と汚水処理原価の引き下げに努めていく。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成7年頃と比較的新しく、管渠・施設等の法定耐用年数経過まで期間があり、管渠の傷みも少ないのが現状である。しかし、マンホールポンプなど負荷の掛かる施設においては、計画的に修繕等を行っている。

全体総括

農業集落排水事業の運営は歳入不足であり、その不足額については、一般会計繰入金により収支を合わせている。また過疎化の進んでいる地域のため、今後の利用者数の減少も見込まれており、歳入不足が深刻化する可能性がある。

しかしながら、使用料改定等による経営状況の改善を行うことは、負担の増大から利用者数の減少を伴う恐れがあるため現状では非常に難しく、現状の維持に努めていく。

今後は、平成27年度に改定した高松市上下水道事業基本計画（経営戦略）を基本指針として、適切な事業運営に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。